

各位

会社名 株式会社アイダ設計
 (コード番号 2990 TOKYO PRO Market)
 代表者名 代表取締役社長 會田 貞光
 問合せ先 取締役管理本部長 下口 崇
 T E L 048-650-0222 (代表)
 U R L <https://www.aidagroup.co.jp/>

2023年3月期中間業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期の中間の連結業績予想と本日公表の実績値との間で差異が生じたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期中間の連結業績予想と実績値との差異(2022年4月1日～2022年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	29,372	49	△94	△76	△2円02銭
当期実績値(B)	29,367	△434	△655	△296	△7円98銭
増減額(B-A)	△5	—	—	—	
増減率(%)	0.0	—	—	—	

2. 差異が生じた理由

(1) 売上高及び売上総利益

売上高については、分譲事業において、住設機器などの納期遅延に伴う工期の延長による着工数の減少が影響し、業績予想を1,520百万円下回り、13,682百万円となりました。一方で、注文事業においては、前期から行っている仕様のリニューアルと価格の見直しによって、業績予想を1,133百万円上回り、14,069百万円となりました。売上総利益については、両事業とも見込みを上回る急速な原価高騰の影響を大きく受けたことにより、業績予想を671百万円下回り、5,031百万円となりました。

(2) 営業利益、経常利益

販売費及び一般管理費については、経営合理化などの施策により経費を削減し、業績予想を187百万円下回り、5,465百万円となりましたが、上記(1)の通り、売上総利益の減少が響き、営業利益は業績予想を483百万円下回り、△434百万円となりました。また、積極的な仕入に伴い、融資手数料が業績予想を83百万円上回った結果、経常利益は業績予想を561百万円下回り、△655百万円となりました。

(3)親会社株主に帰属する中間純利益

上記(2)の通り、経常損失が響き、親会社株主に帰属する中間純利益は業績予想を 220 百万円下回り、△296 百万円となりました。

以 上